

令和5年度 公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「公共」(実教出版)						
副教材等	2023ズームアップ公共資料(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

私たちが生きている「社会」には、さまざまな「解決しなければならない問題(=課題)」があります。『公共』の授業は社会の課題について、みなさんが社会の一員として自分で考えていくことができるようになるための、基本的な力を身につけることを目指します。学習している内容と実際に私たちが直面している「社会」とのつながりを常に意識しながら、学習を進めていきましょう。

2 学習の到達目標

- ・選択・判断の手がかりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について、理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- ・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- ・国家及び社会の形成者として、よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	公共の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	公共の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	公共の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	公共の扉	社会を作る 私たち 人間として よく生きる	a: 公共の概念について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 公共の概念について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート
1学期期末	公共の扉	他者とともに生きる 民主社会の倫理 民主国家における基本原理	a: 民主社会の倫理について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 民主社会の倫理について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート

※令和4年度以降入学生用

2 学期 中間	よりよい 社会の 形成に 参加する 私たち	日本国憲法 の基本的性 格 日本の政治 機構と政治 参加	a: 日本国憲法の基本的性格について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 日本国憲法の基本的性格について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テ スト  ワーク シート	定期テ スト  ワーク シート	定期テ スト  ワーク シート
2 学期 期末	よりよい 社会の 形成に 参加する 私たち	現代の経済 社会 日本の経済 の特質と国 民生活	a: 現代の経済社会について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 現代の経済社会について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テ スト  ワーク シート	定期テ スト  ワーク シート	定期テ スト  ワーク シート
3 学期 学年末	持続可能 な社会 づくりの 主体となる 私たち	国際政治の動 向と課題 国際経済の動 向と課題 持続可能な社 会をめざして	a: 国際関係について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b: 国際関係について事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 c: よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テ スト  ワーク シート	定期テ スト  ワーク シート	定期テ スト  ワーク シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「高校生地理総合」(帝国書院)						
副教材等	最新地理図表 GEO(第一学習社) 新詳高等地図(帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<p>私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとしています。「地理総合」では、世界の様々な国や地域の自然や産業、文化や問題などを、私たちの暮らしと「比較」しながら、地理的に考える力を身につけることを目指します。</p> <p>学習している「国際社会」の内容と、私たちの生活とのつながりを常に意識しながら、地球的な視野を持って学習を進めていきましょう。</p>
---

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の地理的事象についての基本的な知識」と「地図やGISを活用できる地理的技能」が身についている。</li> <li>・世界の生活や文化の多様性、国々の結びつきを理解するとともに、そこから生じる社会の課題について、地理的な見方・考え方に基づいて自分なりの意見を出し、人に伝えることができる。</li> <li>・災害と隣り合わせのわが国において、地域調査を含めた防災への意識を醸成する。</li> </ul>
---

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>国際社会の地理的課題について、理解するための知識が身に付いている。</p> <p>国際社会の地理的課題について、地図・地球儀・統計調査などで情報を正しく読み取り活用する力</p>	<p>国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。</p>	<p>自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢を表す。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	地図や地理情報システムと現代社会	地球儀と地図 地図と地理情報システム	<p>a:地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。</p> <p>b:各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート
	結びつきを深める現代社会	現代社会の国家と領域 地図から見る国内や国家間の結びつき	<p>a:世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。</p> <p>b:国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>			
1学期期末	生活文化の多様性と国際理解	世界の地形と人々の生活 世界の気候と人々の生活 世界の産業と人々の生活 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 多様な生活文化と地理的環境	<p>A:世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。</p> <p>b:地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	事例研究(地誌)	<p>産業(東アジア、アメリカ合衆国) 結びつき(東南アジア、オセアニア) 宗教・歴史(インド、サハラ以南アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ) 自然環境(中央アジア・西アジア・北アフリカ、ロシア)</p>	<p>a: 歴史や宗教、自然環境と人々の生活との深い結びつきによる、古くからの景観や文化の継承について理解している。経済発展、外国とのつながりに伴う人々の生活文化の変化について理解している。 b: 歴史や宗教、自然環境に着目しながら、人々の価値観がどのように育まれてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。産業の特徴に着目しながら、経済発展や外国とのつながりに伴う人々の生活や文化の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 特徴的な自然環境、歴史や宗教、経済発展、外国とのつながりによる人々の生活の変化について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート
2学期期末	地球的課題と国際協力	<p>人口問題 食糧問題 都市・居住問題 感染症・衛生問題 資源・エネルギー問題 地球環境問題</p>	<p>a: 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b: 地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート
3学期学年末	自然環境と防災	<p>日本の自然環境 地震・津波や火山活動による災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え</p>	<p>a: 自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b: どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート	定期テスト  ワークシート

※令和4年度以降入学生用

	<p style="text-align: center;">生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>a:生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。</p> <p>b:事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>			
--	---	---------------------	--	--	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「わたしたちの歴史 日本から世界へ」(山川出版社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

歴史総合は、日本の歴史と世界の歴史を関連づけながら学習する科目です。大きな視点で現代の世界をみると、様々な課題が横たわっていることに気づくかもしれません。それらの課題は「ある日、突然に」生じたことではありません。では「いつ」「どのように」生じたのか、歴史を学ぶことは、これらの疑問を探ることです。歴史を学ぶことを通じて、みなさんが現在、私たちの抱える課題を少しでも解決して、よりよい社会をつくりあげようとする気持ちを強くすることができれば、これ以上のよろこびはありません。

2 学習の到達目標

- 日本の歴史を、世界という視点から理解し学ぶ。
- 「歴史の基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- 社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し人に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	歴史総合の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	歴史総合の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	歴史総合の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			



※令和4年度以降入学生用

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>18世紀の世界とアジア</li> <li>産業革命</li> <li>日本の開国</li> <li>市民革命と国民統合</li> </ul>	<p>a: 18世紀のアジアの情勢と日本との関わりについての知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート
		<ul style="list-style-type: none"> <li>明治維新</li> <li>富国強兵と文明開化</li> <li>大日本帝国憲法の制定</li> <li>帝国主義</li> <li>日清戦争</li> <li>日露戦争</li> </ul>	<p>a: 開国後の日本が諸外国から受けた影響とその後の変化について理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>大衆運動</li> <li>第一次世界大戦</li> <li>ロシア革命とその影響</li> <li>社会運動の広がり</li> <li>アジアの民族運動</li> </ul>	<p>a: 第一次世界大戦や、ロシア革命とその影響についての知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト ワークシート 課題 小テスト	授業態度 授業プリント 振返りシート

※令和4年度以降入学生用

2 学期 期末		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界恐慌</li> <li>• 独裁勢力の台頭</li> <li>• 日本のアジア進出</li> <li>• 第二次世界大戦</li> <li>• 戦後国際秩序</li> <li>• 冷戦の始まり</li> </ul>	<p>a: 第二次世界大戦の経過やその後の国際秩序について理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期 テスト	定期 テスト  ワーク シート  課題  小 テスト	授業 態度  授業 プリン ト  振返り シート
3 学期 学 年 末	グ ロー バル 化 と 私 た ち	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本国憲法</li> <li>• 日本の独立</li> <li>• 第三世界の登場</li> <li>• 冷戦の展開</li> <li>• 高度経済成長</li> <li>• ベトナム戦争</li> <li>• 日本の経済大国化</li> <li>• 日本の諸課題</li> </ul>	<p>a: 日本国憲法の成立や、日本の経済大国への歩みなどの知識を理解し、活用することができる。</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期 テスト	定期 テスト  ワーク シート  課題  小 テスト	授業 態度  授業 プリン ト  振返り シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	2単位	学年	3年次
使用教科書	高校世界史B (山川出版社)						
副教材等	明解世界史図説 エスカリエ 十三訂版 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

私たちは、様々な人々・民族とともにこの地球上で生活しています。そして、彼らとともに現代の課題を解決していくことが強く求められています。そのためには、この多くの人々のことをよく理解する必要があります。「世界史B」は、この地球で生活してきた人々・民族の歩みを学習することをおして、私たちが直面する様々な課題を世界の人々とともに解決していけるような視点 (見方) を身につけることを目標にしています。1年間ともに学習していきましょう。

2 学習の到達目標

- ・3年次では前年度の学習を踏まえ、ヨーロッパ・アジア、アフリカ・オセアニアの人々の中世以降の現在につながる時代を学習します。
- ・「世界史についての基本的な知識」と「資料等を活用して、歴史を読み取る力」が身についている。
- ・世界各地域の社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。

3 学習評価 (評価の観点の趣旨)

**a 関心・意欲・態度**

自分が国際社会の一員であることを自覚し、世界の課題を意欲的に追求する姿勢

**評価方法**

- 『授業中の様子』
- 『プリントの記述』など
- ・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
- ・新しい課題に着目しているか。

**b 思考・判断・表現**

世界各地域の人々が直面した歴史的課題について、よく考え、それを文章や発表の形で表現する。

**評価方法**

- 『考査の論述問題』
- 『課題追求学習の発表』など
- ・自分で調べたことが人に伝わるか。

**c 資料活用の技能**

世界各地域の社会変化や歴史的課題について、資料・地図等から情報を正しく集め、活用する力

**評価方法**

- 『考査の資料問題』
- 『課題追求学習の資料収集』など

**d 知識・理解**

世界の各地域の課題について、時代ごと、主題ごとに理解するための知識

**評価方法**

- 『考査の知識問題』
- 『課題追求学習の内容』など

★上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A...達成した B...概ね達成した C...課題を残した D...多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1 学期 中間	ヨーロッパ世 界の形成	地中海北方へ広がるキリスト教 西ヨーロッパの成長と拡大 封建社会の解体と王権の伸張		○			○	aヨーロッパ世界の 形成に意欲的に参 加する態度 bヨーロッパ世界の 形成について意見 を持ち表現できる cヨーロッパ世界の 形成の情報を収集 し活用できる dヨーロッパ世界の 形成の知識を持っ ている	ノート プリント 単元学習後の感想文
	大規模な分業 体制の成立 西ヨーロッパ の覇権争い	大航海時代 ルネサンスと宗教改革 スペインの盛衰とオランダの覇権。 プロイセン・オーストリア・ロシアの台頭 英仏の覇権争いと大西洋三角貿易		○	○	○	○	aその内容に意欲的 に参加する態度 bその内容について 意見を持ち表現で きる cその内容の情報を 収集し活用できる dその内容の知識を 持っている	ノート プリント テスト

※令和3年度以前入学生用

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1 学期 期末	環大西洋革命 イギリスの覇 権と欧米の国 民国家の誕生	世界で最初の工業化 アメリカの独立 フランス革命 ラテンアメリカにおける環大西洋革命 イタリア・ドイツの統一				○	○	a環大西洋革命 イギリスの覇権と欧 米の国民国家の誕 生に意欲的に参加 する態度 b環大西洋革命 イギリスの覇権と欧 米の国民国家の誕 生について意見を 持ち表現できる c環大西洋革命 イギリスの覇権と欧 米の国民国家の誕 生の情報を収集し 活用できる d環大西洋革命 イギリスの覇権と欧 米の国民国家の誕 生の知識を持って いる	ノート プリント テスト 地図の読み取り
2 学期 中間	世界の一体化 の進展とアジ アの変容	南アジア・東南アジア・東アジアの植民 地化 帝国主義と世界分割競争		○		○	○	aその内容に意欲的 に参加する態度 bその内容について 意見をもち表現で きる cその内容の情報を 収集し活用できる dその内容の知識を 持っている	ノート プリント 単元学習後の感想文 テスト

※令和3年度以前入学生用

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
2 学期 末	世界大戦の時 代	第一次世界大戦と社会主義革命 第一次世界大戦とアジアのナショナリズム ファシズムの出現 第二次世界大戦とその惨禍		○	○	○	○	a その内容に意欲的 に参加する態度 b その内容について 意見を持ち表現で きる c その内容の情報を 収集し活用できる d その内容の知識を 持っている	ノート プリント テスト
3 学期	東西冷戦から 多極的国際社 会へ	「冷たい戦争」 アメリカの覇権と冷戦の展開 多極化の始まり 米ソ二局時代の終焉		○	○	○	○	a その内容に意欲的 に参加する態度 b その内容について 意見を持ち表現で きる c その内容の情報を 収集し活用できる d その内容の知識を 持っている	ノート プリント テスト

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	詳説日本史B改訂版（山川出版社）						
副教材等	新詳日本史（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年次の学習をふまえ、日本の歴史を世界史的視野の中でとらえ、世界の国々の歴史や文化と日本の歴史や文化との関係や違いを理解した上で、互いを尊重する姿勢をもち、科学的な歴史認識を育てることをめざします。「世界の中の日本」という視点から、日本がどのように成長し、世界に貢献していくのか、またどのような過ちをおかし、そのことから学んでいくのかを考えながら学習を進めましょう。

2 学習の到達目標

- ・3年次では中世後期から現代までを学習します。
- ・「日本史についての基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- ・社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し、人に伝えることができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自分が国際社会の一員であることを自覚し、日本の歴史的課題を意欲的に追求する姿勢	世界史的視野の中で、日本の歴史的課題について、科学的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。	歴史的課題について、史料・地図等から情報を正しくよみとり、活用する力。	日本史の展開について、時代ごとにあるいは主題ごとに理解するための知識
評 価 方 法	☆『授業中の様子』『プリントの記述』など ・授業に自ら進んで取り組んでいるか。 ・重要事項を自分の言葉でまとめることができる。 ・授業中の問いかけに対して意見を発表できる	☆『考査の史料問題』『課題追求学習の情報収集』など ・重要な事項について自分で考え自分の言葉で説明できる。	☆『考査の史料問題』『課題追求学習の情報収集』など ・史料を読み、内容を理解している ・テーマを設定し、史料などを集め、調査する	☆『考査の史料問題』『課題追求学習の情報収集』など ・歴史上の出来事を時代別・テーマ別に整理できる 授業中の問いかけに答えることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに基づいて、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に基づいて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	中世	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場 織豊政権 桃山文化	○		○	○	a:授業に意欲的に参加 b:民衆台頭の背景を理解する c:室町文化と現代のつながりを理解する d:東アジアとの関係を理解する	参加意欲 プリント ワークシート テスト
1学期期末	近世	幕藩体制の成立 幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化 幕政の改革	○			○	a:授業に意欲的に参加 b:幕藩体制を理解する c:江戸時代の経済と現代のつながりを理解する d:国際関係を知り、意見を表現する	参加意欲 プリント ワークシート テスト
2学期中間	近世・近代・現代	宝暦・天明期文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化 開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係	○			○	a:授業に意欲的に参加 b:開国と不平等条約を知る c:自由民権運動と現代のつながりを理解する d:条約改正と国際関係を理解する	参加意欲 プリント ワークシート テスト
2学期末	近代・現代	近代産業の発展 近代文化の発達 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭	○	○		○	a:授業に意欲的に参加 b:護憲運動を理解し意見を表現する c:経済と政治のつながりを理解する d:軍部の台頭の背景を知り意見を表現する	参加意欲 プリント ワークシート テスト
3学期	近代・現代	第二次世界大戦 占領と改革 55年体制 経済復興から高度経済成長へ 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容	○	○	○	○	a:授業に意欲的に参加 b:占領政策を理解する c:高度経済成長と社会問題を知る d:情報を収集整理し現代に対する考えを表現する	参加意欲 プリント ワークシート テスト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度  
c:技能

b:思考・判断・表現  
d:知識・理解



※令和3年度以前入学生用

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和5年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	2単位	学年	3年次
使用教科書	新詳 地理B (帝国書院)						
副教材等	最新地理図表 GEO (ジオ) (第一学習社) 地歴高等地図 (帝国書院)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

世界の様々な国や地域の中には、異なる場所であるにも関わらず、同じような環境や文化の地域があれば、反対に、全く正反対の環境や文化で生活している地域もあります。2年生の地理Bで培った「地理的な見方・考え方」や「地理的な知識・技能」を用いて、グループワークやプレゼン発表を通して、世界の様々な国や地域を比較・探究しながら総合的な地誌的能力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

- ・世界の様々な地域を地誌的な見方・考え方で捉えることのできる知識・技能を養う。
- ・グループによる地誌研究を通して、学習内容を自ら探究する力と総合的な地誌的能力を養う。
- ・グループによる研究発表を通して、人に伝える力と地域の類似性や相違性の知識を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

**a 関心・意欲・態度**

自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢。

**評価方法**

- ・振り返りシート
- ・出席、参加態度

**b 思考・判断・表現**

世界の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。

**評価方法**

- ・振り返りシート
- ・相互評価シート

**c 資料活用の技能**

国際社会の地理的課題について、パソコンや統計調査、地図を用いて情報収集や発表資料を作成する力。

**評価方法**

- ・プレゼンテーション
- ・グループワーク

**d 知識・理解**

国際社会の地理的課題について理解するとともに、世界の地誌的内容について理解する力。

**評価方法**

- ・振り返りシート
- ・確認テスト

★上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元 (学習 項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
1 学期 中間	都市・ 居住問 題	《オリンピック開催地はどこがい い?》 世界の都市機能や集落のしく みを理解し、立地条件や都市 開発などの都市問題について 考える。		○			○	a 村落や都市の立地条件や発達経 緯、機能に対する関心と課題意識 を高め、それを意欲的に追究し、 とらえようとしている。 b 村落や都市の立地や構造を、地域 の歴史や自然条件、社会条件など をふまえて多面的・多角的に比 較・考察し、その過程や結果を適 切に表現できる。 c 村落や都市に関するの統計や地図 などの諸資料から有用な情報を適 切に選択し、村落や都市の有する 機能や発達経緯などについて読み 取ることができる。 d 村落と都市の立地条件、発達の背 景、機能などを理解し、その知識 を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
1 学期 期末	世界地 誌① アメリ カ 合衆国	《地理的な視点で世界を見よ う》 今まで学習してきた系統地理 的な知識を活かして、世界の 様々な国や地域を地理的な視 点や方法で考察する。				○	○	a 移民国家としてのアメリカ合衆国 にみられる地域的特色や地球的課 題に対する関心と課題意識を高 め、意欲的に追究し、とらえよう としている。 b 移民が建国した歴史的背景をふま えた地域的特色や地球的課題を項 目ごとに整理して静態的に考察 し、その過程や結果を適切に表現 できる。 c 系統地理的な諸資料を適切に収集 し、収集した資料から有用な情報 を適切に選択して、これをもとに 地域的特色や近年の動向について 読み取ることができる。 d 地域的特色や地球的課題を理解 し、その知識を身につけている。	ノート テスト グラフ等 読み取り 参加意欲 感想文 ワークシート

※令和3年度以前入学生用

学期	単元 (学習 項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
2 学期 中間	世界地 誌② 地誌研 究①	《自分たちで調べてみよう ①》		○	○			a 調べた地域における地域的特色や 地球的課題に対する関心と課題意 識を高め、意欲的に追究し、とら えようとしている。 b 調べた地域における地域的特色や 地球的課題を項目ごとに整理して 静態的に考察し、その過程や結果 を適切に表現できる。 c 調べた地域における系統地理的な 諸資料を適切に収集し、収集した 資料から有用な情報を適切に選択 して、これをもとに地域的特色や 近年の動向について読み取ること ができる。 d 調べた地域における地域的特色や 地球的課題を理解し、その知識を 身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
	世界地 誌③ 地誌研 究②	《自分たちで調べてみよう ②》		○	○	○	○	a 調べた地域における地域的特色や 地球的課題に対する関心と課題意 識を高め、意欲的に追究し、とら えようとしている。 b 調べた地域における地域的特色や 地球的課題を項目ごとに整理して 静態的に考察し、その過程や結果 を適切に表現できる。 c 調べた地域における系統地理的な 諸資料を適切に収集し、収集した 資料から有用な情報を適切に選択 して、これをもとに地域的特色や 近年の動向について読み取ること ができる。 d 調べた地域における地域的特色や 地球的課題を理解し、その知識を 身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート



学校番号	2002
------	------

令和5年度 公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	2単位	学年	3年次
使用教科書	最新 政治・経済 新訂版 (実教出版)						
副教材等	政治・経済資料 2023 (とうほう)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

政治・経済分野に関して、現在の諸事象を取り上げて考察していく。基礎・基本的な知識から、それらの繋がりを感じて、自ら興味関心を高め、それぞれの意見を持ち、伝えられる力を身に付けられるようにする。責任ある大人への第一歩として、自らと社会がどのように繋がっているのか、どのような責任・義務を果たしていくべきか、この授業を通じて理解を深めていく。

2 学習の到達目標

1年次に学習した現代社会の内容を基礎に、政治・経済のしくみや問題点をテーマごとに取り上げて理解を深めるとともに、社会人・主権者としての自覚と自分で考え行動できる能力の育成をめざす

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	政治経済分野について、日々の変化を感じ、吸収しようとする姿勢を持っている。	政治経済分野のつながりについて、自らの意見を持ち、伝えることができる。	教科書・資料集・新聞・インターネットなどで情報を集めることができる。	政治経済分野の幅広い知識を持っている。
評 価 方 法	『授業への積極的参加』 『日々の課題への取り組み』 ・授業に自ら進んで取り組んでいるか。 ・難しい課題にチャレンジしているか。	『考査の論述問題』 『課題追求学習の発表』など ・多面的・多角的に考えたことが伝わるか。	『考査の資料問題』 『課題追求学習の情報収集活用』	『考査の知識問題』 『課題追求学習の内容』など

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代国家と民主政治	民主政治の成立 民主政治の基本原則 議会制民主主義	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a 現代国家と民主政治に意欲的に参加する態度 b 現代国家と民主政治について意見を持ち表現できる c 現代国家と民主政治の情報を収集し活用できる d 現代国家と民主政治の知識を持っている	ノート テスト 参加意欲
	日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の成立 自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a 日本国憲法と基本的人権に意欲的に参加する態度 b 日本国憲法と基本的人権について意見を持ち表現できる c 日本国憲法と基本的人権の情報を収集し活用できる d 日本国憲法と基本的人権の知識を持っている	ノート テスト ワークシート
	日本の政治機構と政治課題	国会 内閣と行政機能の拡大 裁判所 地方自治 政党政治と選挙 世論と民主政治	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a その内容に意欲的に参加する態度 b その内容について意見を持ち表現できる c その内容の情報を収集し活用できる d その内容の知識を持っている	ノート テスト グラフ等読み取り
	現代の国際政治	国際社会と国際法 国際連合と国際協力 二次世界大戦後の国際政治 冷戦終結後の国際政治	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a 現代の国際政治に意欲的に参加する態度 b 現代の国際政治について意見を持ち表現できる c 現代の国際政治の情報を収集し活用できる d 現代の国際政治の知識を持っている	ノート テスト ワークシート
2学期	経済社会の変容	資本主義経済の成立と発展 現代の資本主義経済 社会主義経済の形成と変容	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a 経済社会の変容に意欲的に参加する態度 b 経済社会の変容について意見を持ち表現できる c 経済社会の変容の情報を収集し活用できる d 経済社会の変容の知識を持	ノート 確認テスト 参加意欲





令和5年度 公民科

教科	公民科	科目	倫理	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高校倫理 新訂版（実教出版）						
副教材等	テオリア 最新倫理資料集 改訂10版（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

変化が激しく、価値観の多様化する現代社会を私たちは生きています。だからこそ、自分のライフスタイルや社会的な立ち位置を決めていくにあたって、先人のいろいろな思想・考え方に触れていくことは、きわめて大事です。彼らが、それぞれの時代・社会にあってどのような課題に直面し、それをどのように解決しようとしたのか。私たちはこれから1年間、そうした彼らの営みを学び、私たち独自の課題の解決に役立てていきましょう。

2 学習の到達目標

- ・「倫理についての基本的な知識」と「倫理についての情報を集め、読み解く能力」が身についている。
- ・倫理の課題について、自分から追求し、多面的・多角的に考え、人に伝えることができる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日々の生活の中で、倫理の課題を意欲的に追求する姿勢がある。	倫理の課題について、多面的・多角的に考え、それを文章や発表の形で表現する。	倫理の課題について、先人の残した言葉や著作を読み取り、情報を正しく理解し、活用する力がある。	倫理の課題について理解するための知識が身についている。
評 価 方 法	『授業中の様子』 『プリントの記述』など ・授業に自ら進んで取り組んでいるか。 ・新しい課題にチャレンジしているか。	『考査の論述問題』 『課題探究学習の発表』など ・多面的・多角的に考えたことが伝わるか	『考査の資料問題』 『課題探究学習の資料活用』など	『考査の知識問題』 『課題探究学習の内容』など
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	青年期の課題と自己形成	《人間・青年期について》 人間性の定義やライフサイクルの中の青年期の特徴を学習する。	○			○	a 青年期の課題と自己形成に関する学習やワークに意欲的に参加する態度がある。 b 人間性の定義について意見を持ち、表現できる。 c 自己形成に関する事例を収集し、活用できる。 d 青年期の課題に関する知識を持ち、自己の課題と関連付けて理解できる。	プリント 発表 テスト
1学期期末	ギリシア思想	《古代ギリシア哲学について》 ソクラテス・プラトン・アリストテレスらが考えた課題とその解決方法やヘレニズムの思想を学習する。		○	○		a 古代ギリシア哲学について興味関心を持ち、学習意欲がある。 b 古代ギリシアの哲学者たちの思想を比較・分類し、図に表すなどの表現ができる。 c 古代ギリシアの哲学者たちの思想に関する資料など情報を収集し、活用できる。 d 古代ギリシア哲学について知識を持ち、ヘレニズム期までの変遷を理解できる。	プリント 発表 テスト
2学期中間	三大宗教	《キリスト教・イスラム教・仏教について》 それぞれの宗教の基本的な考え方と現代社会との関連について学習する。		○		○	a 三大宗教について興味関心を持ち、学習意欲がある。 b 三大宗教と現代の国際的な問題との関連について意見を持ち、表現できる。 c 聖典や経典の資料から情報を収集し、活用できる。 d 三大宗教の成立と発展についての知識を持ち、その意義を理解できる。	プリント 発表 テスト
	中国思想	《古代中国の思想について》 諸子百家の思想について学習する。	○		○		a 古代中国の思想に興味関心を持ち、学習意欲がある。 b 諸子百家の考え方について比較検討して考察し、表現できる。 c 老荘思想に関する資料などから情報を収集し、活用できる。 d 古代中国の思想に関する知識を持ち、その思想的背景を理解している。	プリント 発表 ワークシート
	古代日本人の思想	《古代日本人の思想について》 古代日本人の思想の特徴を西洋思想と対比しながら学習する。		○	○		a 古代日本人の思想に興味関心を持ち、学習意欲がある。 b 古代日本人の思想と風土との関係について西洋と対比しながら表現できる。 c 古代日本人の思想の特徴を『古事記』などから読み取り、理解できる。 d 古代日本人の思想に関する知識を持ち、現代日本とのつながりを理解している。	プリント 発表 ワークシート

